

授業科目

社会福祉専門ゼミIII

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 松山 茂樹 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |

授業の概要

社会福祉の専門的テーマをとりあげ、学生が自主的に学習し、その成果を報告し、それに基づく討論を行う。

原則として3年次の社会福祉専門ゼミI、IIから継続して、自分が最も関心を持っているテーマについて、基本的文献と専門的文献を読み、調査研究を進め、ゼミ論文作成の準備を行う。

具体的な学習内容、運営計画は各ゼミの担当教員による。

授業の目的

社会福祉に関する専門的テーマをもとに、主体的に取り組むことにより、研究意欲を陶冶するとともに専門的な知識等を身に付ける。

学習目標

1. 選択したテーマに関する文献・資料・情報を検索・収集することにより、社会福祉の動向や課題について調べる。
2. 選んだテーマから、社会福祉学と基礎・関連諸科学との関連について考察する。
3. 選んだテーマから、社会福祉学と保健・医療などの関連について考察する。
4. 選んだテーマから、人権尊重や人間理解の在り方について考察する。
5. 学習した成果を口頭で報告し、レポートにまとめる。
6. 討論に参加し、共同思考する。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 専門ゼミの位置づけ、各ゼミの運営計画 | 専門ゼミの位置づけ確認、教員の方針説明、運営計画、役割分担 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 2 | 各ゼミの運営計画に基づくゼミ活動 | 各ゼミの運営計画の実施 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 3 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 4 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 5 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 6 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 7 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 8 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 9 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 10 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 11 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 12 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 13 | 同上 | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
| 14 | ゼミ活動のまとめ(1) | ゼミ活動の総括 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |

| | | | |
|----|-------------|----|-------------------------------|
| 15 | ゼミ活動のまとめ(2) | 同上 | 丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口 |
|----|-------------|----|-------------------------------|

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|------------------|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科書 | 使用しない。 | | | | | |
| 参考書 | ゼミ担当教員が随時紹介する。 | | | | | |
| その他の資料 | 各ゼミそれぞれが資料を使用する。 | | | | | |

評価方法

1.授業参加（発言、役割の分担遂行など）2.レポート、ゼミ論文
以上から評価する。

履修上の留意点

ゼミは、学生の自主的、集団的学習活動を促進することを目的としているので、積極的に参加し、個人学習と共同学習を統一的に進めてほしい。

オフィスアワー・連絡先

松山研究室（E棟313）
毎週水曜日 午後15時以降
E-mail:matuyama@nuhw.ac.jp